

## ● 令和元年

新しい元号には、「心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」時代へののが込められています。

このラウンジ塾では、机の上だけではない、実際に人と人がコミュニケーションを取ることで生まれる「学び」を大切にしています。

室蘭では、人口が月平均100人程度減少しています。それでも元気な地域であり続けるために、「交流人口」という考え方で経済を回す取り組みが増えてきています。

リニューアルした道の駅「みたら室蘭」には行きましたか？お土産もフードコートも、大きく生まれ変わり、土日祝日には賑わいが生まれています。そして、この4～5月には、豪華客船が4回も室蘭にやってきます。外からのお客様におもてなしをする仕事をして、その収益から税金を納め、街の元気につなげるということも大切なテーマになっています。

そのような時代の始まりに、私たちはここに生きる者として何ができるのか。可能性の芽はたくさんあります。一緒にその芽を育む、そんなスタディラウンジにできるよう、努めて参ります。

新たな令和の時代も、どうぞよろしく願い申し上げます。

共生舎 代表 高橋 慎吾 拝

## ● 教務 4月の総括

共生舎では、新学期に伴い、前回のスタディラウンジだより発行時より、新たに4名の受講生さんをお迎えしています。小5・小6・中3にそれぞれ1名、一般受講生さん1名です。

新たなメンバーを迎えての4月を振り返ります。

### \*小学生の部

2年生は、親御さんと一緒に家庭学習をする習慣があり、回数を重ねるごとに書く文字や計算のスキルをめきめきつけている姿が頼もしく感じます。

5・6年生は、それぞれの強みと弱みがわかるようになった中で、予習重視の取り進めになってきました。学校の授業で再確認し、定着を図っていることが確認できます。

### \*中学生の部

1年生は、小学校のテストとは全く異なる学力テストに初挑戦。若干苦戦したようですが、得意不得意がはっきりわかるようになり、自分の課題を探すことにつながりました。

2年生は、めきめき力をつけています。2人ともやるときはやる、抜くときは抜くというというリズムをしっかりと持っているので、テストのときに少しずつその成果が表れるようになって感じます。

中3生は、昨年度までそれぞれ課題だった学習意欲のムラをうまく自分で観察したり、コントロールする姿勢がはっきり表れてきました。下級生たちにもちゃんとしたメリハリを見せられる、頼もしい先輩に成長してくれていると思います。

### \*高校生の部

普通科の学生さんについては、進路の大学受験に向けた学びを強化しています。春休み中の課題で文系数学と英語を重点的に見せていただきましたが、論理的・感覚的の両面からの説明で、理解を深めてくれています。また、工業高校に進学した学生さんとは、磁界のお話を一緒に確認し、高校数学との関連について道筋をつけています。

## ● メディア掲載情報

(株)北海道アルバイト情報社のネットマガジン「くらしごと」に、当ラウンジのことを掲載いただきました！

こちらのQRコードから、記事をご覧頂くことができますので、ぜひご一読のほど、よろしくお願い致します！



## ● ちいさな雑貨店Slothからのお知らせ

### \*PayPay導入！

Slothでも、ついに電子マネー決済“PayPay”を導入いたしました！スマホアプリを利用した決済システムで、新しく登録されると500円分のキャッシュバックがあります(本日現在)。

店長・塾長ともに、アプリのご利用方法をご説明できます。加盟店も増えてきていますので、ご関心のある方はお問合せください。

※PayPayでのお支払いは雑貨店のみとさせていただきます。あしからずご了承ください。

## ● コラム

先日、ある学校の先生と、「合格点を取らなかつたら、合格するまで〇〇を△△回やって来い、といった懲罰的な学びは、学ぶ楽しみを奪うことになるのでは」という話題になりました。

勉強は楽しくないもの、と誰が決めたのでしょうか。そう思った時、実はわたしたち大人が、「学習とは辛くて面倒なことだ」と、暗黙のサインを子どもさんたちに送っていないだろうかと思えるようになりました。

いつまでに何を、というのも大切ですが、どうやったらそこに向かえるのか、ということと一緒に考えることも、私たち大人の役目だと思います。